

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成22年2月19日)

## 項 目

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 1 | 第3回鳥取県経済成長戦略会議の開催結果について<br>【経済通商総室(企画調査チーム)】                                       | 1 |
| 2 | 鳥取県次世代電気自動車共同研究協議会の設立について<br>【経済通商総室(企画調査チーム)】                                     | 2 |
| 3 | 「TOTTORI Trade Center」の開設と境港・東海・ウラジオストック定期<br>貨客船航路の運航状況等について<br>【経済通商総室(通商物流チーム)】 | 3 |
| 4 | 企業の工場新設について<br>【産業振興総室(企業立地推進チーム)】   | 5 |

商 工 労 働 部

## 第3回鳥取県経済成長戦略会議の開催結果について

平成22年2月19日  
経済通商総室  
企画調査チーム

鳥取県経済成長戦略(最終案)について、各産業分野に精通している戦略会議委員により、県経済の成長分野における施策の方向性について意見・提言をいただくため、以下のとおり「第3回鳥取県経済成長戦略会議」を開催しました。

なお、鳥取県経済成長戦略は、本会議委員のご提言やパブリックコメント等による県民の皆様方のご意見を踏まえ、2月下旬に公表する予定です。

(※) 戦略の目的：人口減少下においても安定かつ持続可能な経済成長を実現

### 1 会議の概要

(1) 開催日時 1月29日(金) 15:30~17:10

(2) 出席者

<経済成長戦略会議>

|      |                 |                |       |                  |      |
|------|-----------------|----------------|-------|------------------|------|
| 平井委員 | 鳥取県             | 知事             | 小梅川委員 | (株)バイオフロントパートナーズ | 技術顧問 |
| 八村委員 | 鳥取県商工会議所連合会     | 会長             | 後藤委員  | (社)鳥取県情報産業協会     | 会長   |
| 池淵委員 | トヨタ自動車(株)       | 顧問・技監          | 吉長委員  | 広島国際大学           | 教授   |
| 根津委員 | (株)富士通総研        | 取締役エグゼクティブフェロー | 山崎委員  | 都市創造研究所          | 所長   |
| 藤原委員 | (株)インターネット総合研究所 | 所長             | 濱田委員  | (株)めぐみ           | 代表   |

※池淵委員は欠席。

<鳥取県>

商工労働部長、部内各チーム長、WGメンバー、関係部局主管課長 等

(3) 会議概要

<委員からの主な意見>

- 物流戦略において、日本が進んでいる社会システムを提供していくビジネスの展開が必要。例えば、水ビジネス(上下水、排水、浄化)を展開する。
- ロシア人の平均寿命は短い。医療サービスのロシア等への展開が必要。
- グーグルやアマゾン、日本に活動拠点を求めており、連携すれば大きなビジネスチャンスとなる。
- 鳥取らしいキーワードとして、エネルギー自給率ナンバーワンを目指し、太陽光・風力・水力の比率を上げる

### 2 パブリックコメントで寄せられた主な意見

( \*実施期間：12月28日~1月22日 )  
( \*応募件数：55件 )

- 農産物の加工・販売を行うシステム作りが必要。
- 横断的分野であるICT分野について情報発信の要素がない。
- 産官学によるソーラー発電所を建設することを検討してはどうか。

## 鳥取県次世代電気自動車共同研究協議会の設立について

平成22年2月19日  
経済通商総室  
企画調査チーム

慶應義塾大学発のベンチャー企業である株式会社SIM-Drive（シムドライブ）が行う電気自動車の先行開発車共同研究事業に参加するため、鳥取県次世代電気自動車共同研究協議会を設立しました。

### 1 協議会の概要

- (1) 設立 平成22年2月5日（金）
- (2) 会長 鳥取県商工労働部長 山根 淳史
- (3) 事務局 鳥取県商工労働部経済通商総室内
- (4) 参画企業（11社・団体）

|          | 企業名                                 | 現在の主な業務                  |
|----------|-------------------------------------|--------------------------|
| 自動車部品製造  | ダイヤモンド電機(株) [大阪市]                   | 点火プラグ、インバータ等製造           |
|          | NOK(株)鳥取事業場 [南部町]                   | 防振ゴム製造                   |
|          | 気高電機(株) [鳥取市]                       | 家電製造、自動車塗装乾燥機            |
|          | (株)HRD [鳥取市]                        | LED製造                    |
|          | 旭東電気(株) 鳥取事業所<br>(旧ステップ電気(株)) [琴浦町] | 液晶バックライト、漏電遮断機等製造        |
|          | (株)明治製作所 [倉吉市]                      | 自動車関連鍛造部品製造              |
| 社会システム検討 | 東亜ソフトウェア(株) [米子市]                   | ソフトウェア開発                 |
|          | (株)ケイズ [米子市]                        | ソフトウェア開発、データセンター         |
|          | 堀田石油(株) [境港市]                       | ガソリンスタンド、自動車販売、リース、修理、車検 |
|          | (株)中海テレビ放送 [米子市]                    | 通信、CATV                  |
|          | (地独)鳥取県産業技術センター                     |                          |

※社会システムについては、マイクログリッド等の電気自動車の利用環境の整備等について検討

### (5) 活動内容

- (株)SIM-Drive との共同研究（一団体・企業当たりの参加費：21,000千円）に参加するため、参加費として各社1,050千円を拠出。県からは10,000千円を補助予定。  
（11月補正予算：補助上限13,000千円）
- 協議会の事業概要
  - ① (株)SIM-Drive の先行開発車の開発状況に応じた情報提供
  - ② 先行開発車への各社の技術提供
  - ③ (株)SIM-Drive が求める技術についての情報提供
  - ④ 産業技術センターからの派遣研究員による共同研究の成果報告会
  - ⑤ (株)SIM-Drive による報告会、学習会の開催
  - ⑥ 先行開発事業に係る成果物の提供

### 2 (株)SIM-Drive の共同研究への参画企業

参加を公表していない企業・団体を含め34社・団体の参加

(主な参画企業)

|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 自動車完成車メーカー  | いすゞ自動車株式会社、三菱自動車工業株式会社   |
| 電池関連メーカー    | 株式会社クレハ、田中貴金属グループ        |
| 自動車部品関連メーカー | 株式会社ダイナックス、帝国ピストンリング株式会社 |
| 精密機器メーカー    | パイオニア株式会社、オリンパス株式会社      |
| 重工業         | 株式会社IHI                  |
| 商社          | 三井物産株式会社、三菱商事株式会社        |
| 自治体         | 鳥取県、岡山県                  |
| その他         | 株式会社ナノオプトニクス・エナジー、NTT東日本 |

# 「TOTTORI Trade Center」の開設と境港・東海・ウラジオストク 定期貨客船航路の運航状況等について

平成22年2月19日  
経済通商総室  
通商物流チーム

## 1 「TOTTORI Trade Center」の開設について

2月9日(火)、県内企業等のロシアでの販路開拓を支援する拠点として、鳥取県ウラジオストクビジネスサポートセンター「TOTTORI Trade Center」を開設。鳥取県副知事及び経済関係者等が訪露の上、ウラジオストク市内において開所式など関連行事を次のとおり行った。

### ○訪露団

環日本海経済活動促進協議会(以下「協議会」という。)・足立会長、藤井鳥取県副知事、その他協議会会員を中心にした民間企業6社が参加。

### ○開所式

①場 所 ロシア沿海地方ウラジオストク市 ホテルヒュンダイ

#### ②概 要

- ・沿海地方行政府、ウラジオストク市役所などの地元行政機関、沿海地方商工会議所をはじめとする経済関係団体、極東総合大学などの高等教育関係機関の幹部のほか、小売、物流、飲食、観光等幅広い分野のロシア企業関係者等約100名が出席。
- ・来賓として、連邦通産省沿海地方代表、沿海地方行政府国際協力観光局長、沿海地方商工会議所会頭、在ウラジオストク日本国総領事、黒竜江省口岸汽車運輸管理弁公室課長から挨拶があったほか、ロシア連邦経済発展省副大臣、駐日ロシア大使、在日ロシア商工会理事長からも祝電があるなど、ロシア政府要人も大いに祝福。
- ・併せて、ウラジオストク市内報道機関8社の取材があり、センター開設に対する関心と期待の高さが伺えた。

### ○内覧会

①場 所 ロシア沿海地方ウラジオストク市スハノヴァ通り6  
「TOTTORI Trade Center」 事務所にて

#### ②概 要

- ・鳥取県副知事と来賓などによる鏡割りでセンター開設をお祝い。日本の伝統的な祝賀の手法は、参加者にたいへん好評。
- ・事務所内には、事務室、打合せ・商談スペースに加えショールームが設置されており、県内企業等の製品や商材展示、山陰地域の観光、ガイナレ鳥取などに関する情報を発信。
- ・内覧会后、ウラジオストク市内の報道機関による取材が行われ、協議会会長及び鳥取県副知事が、今後のセンターの積極的な利用について呼びかけ。

### ○商談会

このたびの訪露に合わせ、センター事務所において商談会を開催。協議会会員企業がロシア企業20社余りと具体的な商談に向けた打合せを行った。

### ○今後の展開

- ・県内をはじめ山陰地方、及び幅広く西日本一円の企業に利用を周知。ロシアへの販路開拓を志向する企業を重点的に支援。
- ・貨客船航路の貨物利用に繋げるとともに、ロシアに向けた鳥取県の情報発信拠点としても活用を図り、人的交流の拡大も目指したい。

【鏡割りの様子】



【センターの外観】



【県産品が並ぶセンター内】



## 2 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航実績全般（6月29日～2月1日）

### 【旅客】

※韓国・東海市まとめ

| 区 分      | 境港～東海  | 東海～ウラジオストク | 合 計    |
|----------|--------|------------|--------|
| 運航回数（往復） | 60回    | 30回        | 90回    |
| 乗客数（人）   | 19,999 | 3,618      | 23,617 |

#### <乗客数の国籍別内訳>

| 区 分    | 韓国     | 日本    | ロシア   | その他 | 合 計    |
|--------|--------|-------|-------|-----|--------|
| 乗客数（人） | 16,035 | 3,825 | 3,555 | 202 | 23,617 |
| 構成比（%） | 67.9   | 16.2  | 15.1  | 0.8 | 100.0  |

### 【貨物】 貨物量実績／計107TEU（20フィートコンテナ換算）＋ 車両・バルク貨物

#### <貨物量の荷姿別内訳>

| 区 分      | コンテナ    | 車両    | バルク   | 合 計   |
|----------|---------|-------|-------|-------|
| 重量ベース（ト） | 708     | 1,602 | 1,139 | 3,449 |
| 構成比（%）   | 20.6    | 46.4  | 33.0  | 100.0 |
| （コンテナ数）  | 107 TEU | —     | —     | —     |

#### <貨物量の航路別内訳：重量（ト）ベース>

| 区 分    | 東海→境港 | 境港→東海 | 東海→ウラジオ | ウラジオ→東海 | ウラジオ→境港 | 境港→ウラジオ | 合 計   |
|--------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 重量（ト）  | 216   | 149   | 2,275   | 337     | 167     | 305     | 3,449 |
| 構成比（%） | 6.2   | 4.3   | 66.0    | 9.8     | 4.9     | 8.8     | 100.0 |

## 3 航路を巡る最近の動き

○2月1日、国土交通省中国地方整備局主催により「環日本海物流の効率化検討委員会」の初会合を開催。貨客船航路をモデルケースに、境港における国際物流の利用拡大に向けた方策の検討を開始。委員会メンバーは、地元経済関係者や荷主企業、行政関係などで構成。

○2月11日～14日の間、貨客船のエンジン整備と設備補修のため、臨時運休。境港に寄港する便としては2往復が休止。2月15日の東海→ウラジオストク行きの便から、通常運航に戻った。

## 企業の工場新設について

平成22年2月19日  
産業振興総室  
企業立地推進チーム

ペットフード等を製造販売する株式会社マルカン（本社：東大阪市）が、鳥取市、境港市、岡山県美作市に工場を持つ株式会社サンライズ（本社：大阪市）と合併することに伴い、業務効率化のため株式会社サンライズの岡山工場及び境港工場を鳥取市内に集約することとなり、2月9日に株式会社マルカン、鳥取県及び鳥取市との間で協定書の調印式を行いました。

### 1 企業概要

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 社名   | 株式会社マルカン   |
| (2) 本社   | 大阪府東大阪市長田中5-3-13   |
| (3) 創業   | 1970年(昭和45年)5月   |
| (4) 資本金  | 7,000万円  |
| (5) 代表者  | 代表取締役会長 松本博司<br>代表取締役社長 松本幸彦   |
| (6) 従業員数 | 140名(平成20年3月現在)  |
| (7) 年商   | 76億円(平成20年度)、合併後予想180億円  |
| (8) 営業種目 | 生きものおよび用品の製造販売<br>●観賞魚水槽・飼育用品 ●犬・猫飼育用品 ●小動物・昆虫飼育用品<br>●昆虫、うさぎ・ハムスター・小鳥などの小動物、カメなどの爬虫類生体卸 |
| (9) 関連会社 | ニッソーバハリ（インドネシア） 水槽及び水槽関連用品の製造  |



### 2 投資計画

- |            |  |
|------------|--|
| (1) 新工場予定地 | トステム(株)鳥取工場跡空き工場（鳥取市湖山東3丁目2-309）   |
| (2) 投資額    | 約15億円（土地・建物の取得、空き工場の修繕・増改築、製造装置の移設）  |
| (3) 雇用人数   | 鳥取新工場 約120名〔+既存の鳥取工場約80名 = 計200名〕<br>↑<br>（境港工場分 約45人 + 岡山工場分 約35人 + 雇用増 約40名）         |
| (4) 工期     | 平成22年3月（新工場改築開始）～平成23年春頃（工場集約完了）   |
| (5) 県の支援   | 企業立地事業補助金による支援（投資額の10%）<br>企業立地促進法に基づく支援（不動産取得税の免除）<br>鳥取県正規雇用創出奨励金支給による支援（県内雇用人数の増加分） |

#### 〔鳥取へ集約を決めた理由〕

- 鳥取自動車道の開通による交通アクセスの向上
- 優秀な従業員の安定確保が可能
- 県・市の熱心な働きかけと協力体制

### 3 調印式

- |         |   |
|---------|---|
| (1) 日時  | 平成22年2月9日（火）13:00～13:30   |
| (2) 場所  | 鳥取市役所内  |
| (3) 出席者 | 株式会社マルカン 代表取締役会長 松本博司、代表取締役会長 松本幸彦<br>鳥取県 鳥取県知事 平井伸治<br>鳥取市 鳥取市長 竹内 功 |